

平成26年度マレーシア海外研修

平成26年7月11日(金)～15日(火)

報告書



大阪府立池田北高等学校

平成26年度大阪府立池田北高等学校国際交流事業委員会主催海外研修
「マレーシア海外研修」

実施期間	平成26年7月11日（金）～7月15日（火）
主 催	大阪府立池田北高等学校国際交流事業委員会
交 流 校	SMK SEKSYEN 1, BANDAR KINRARA
参加人数	15名
研修目的	急激な国際化が進展する社会情勢の中、次代を担う若い世代が異なる文化や生活習慣等を身近に体験することが大切である。そのため本校の生徒がマレーシアに滞在して現地の高校や大学生と交流を深め、外国の人々の文化や生活に直接触れることにより、国際理解を促進し国際感覚や国際的な視野を養う。またコミュニケーションの手段としての英語の役割を認識し、その活用能力を高める。さらに、自国の文化・伝統を再認識するとともに、日本とマレーシアとの学校間の友好関係を深める。
活動内容	学校交流、大学生との自主研修、伝統文化体験学習、史跡見学、博物館見学など

〔マレーシア海外研修の成果〕

昨年一昨年と台湾を訪れ、今年初めてマレーシアを研修先として選定した。

その主な理由は、

- ①日本から比較的近く行きやすい。
 - ②英語を公用語として使用している。
 - ③日本とも緊密な関係を保っており、親日的である。治安も安定している。
 - ④同じアジアにある国として、国民性や風土の違いなど多くの学ぶべき点がある
 - ⑤日本と違って多民族国家であり、宗教や言語、文化が大きく違う民族が共存して暮らしている。異文化理解を促進し、これからの国際化社会を生き抜く日本の若者にとっても大きな参考になる。
 - ⑥マレー系（65%）、中華系（24%）、インド系（8%）で構成されていて、様々な文化が体験できる。また宗教も、イスラム教、仏教、ヒンズー教、キリスト教など多くの宗教が混在しており、独特の社会を形成している。
- など、これらの点を中心に学び大きな成果があった。

- （1）事前学習で、マレーシアについてや海外渡航に関する必要事項や知識などについて学んだ。特に一度は、日本に滞在していたマレーシア人の人を招いての「マレーシア」学習を行い、直接マレーシアの事情について生の声を聴いて「生きた学習」をした。マレーシアの国技であるバドミントンの交流も行った。
- （2）英語に関しては各自が意識して日常会話の学習に取り組み、現地での会話で活用し、交流や日常生活の場で使い検証した。マレーシアでの英語は発音の違いはあるが、日本と同じく「学んだ」英語であり比較的わかりやすく、学習の参考になった。

- (3) 現地のガイドや大学生からは、マレーシアの今日の生活の様子や文化、宗教、経済、政治に至る様々なことについても多くのことを学んだ。
- (4) 学校交流では連携協定を締結し親密な関係を結ぶことができ、単に学校間の協定というだけでなく、日本との友好関係にも貢献し役立つことができた。
- (5) 学校での学生交流では直接生徒同士が会話、交流し、それぞれが親密な関係を築くことができた。お互いにメールアドレスや連絡先の交換なども行った。
- (6) 学校ではマレー系、中華系、インド系の学生が独特の関係を築き、お互いにそれぞれの文化や生活を認め合い大切にしながら、ともに学んでいる姿を見ることができた。特に語学に関しては、最低でも三か国から五か国語が話せるということも驚きだった。
- (7) 学校では、それぞれの民族の伝統文化の紹介や簡単な体験授業も受け、より身近にマレーシアについて学ぶことができた。現地の子どもたちが誇りと自信を持って学ぶ姿から、日本での学びの姿勢の違いも認識することができた。
- (8) 世界遺産のマラッカの例をはじめ伝統や文化を大切にする一方で、新行政都市プトラジャヤの建設や地下鉄の建設など急速に発展している様子が印象的で、その中に日本だけでなく様々な国との関係が見れて、これからの国際化社会について考えることができた。

【交流校概要】

名称	SMK SEKSYEN 1, BANDAR KINRARA
所在地	Jalan Kinrara 3, Bandar Kinrara, Puchong, Selangor, Malaysia
校長名	Mdm.IRINE
生徒数	約 1, 2 0 0 名
教員数	約 6 0 名

【学校訪問・交流会スケジュール】

〔7月14日(月)〕

08:30 専用車にて SMK SEKSYEN 1 BANDAR KINRARA 高等学校へ出発

09:15 現地校到着後、歓迎式会場まで移動

〔歓迎式開始〕

*マレーシア国歌・セランゴール州州歌の演奏・SMK 校歌合唱

*現地学生より歓迎パフォーマンス

マレーシア伝統武術演武披露

マレーシア歓迎の歌とダンス

1. SMK SEKSYEN 1 BANDAR KINRARA 学校 校長歓迎のことば

2. 池田北高等学校校長先生訪問の挨拶

3. SMK SEKSYEN 1 BANDAR KINRARA 学校 生徒代表歓迎の挨拶

4. 池田北高等学校 生徒代表訪問の挨拶（東條・三原）

*池田北高校生による歌（「未来へ」）お礼の合唱

- 1 0 : 0 0 姉妹校提携サイン式、SMK 学校訪問記念サイン式
両校校長先生記念品交換
- 1 0 : 1 5 記念写真(全員)
- 1 0 : 3 0 学生交流(インド系、マレー、中国系の文化体験)
*インド舞踊
*バティック染め
*中国茶道(緑茶、プアール茶)
- 1 2 : 1 0 昼食: 学校食堂<ランチボックス/現地学生と一緒に食べる>
*SMK SEKSYEN 1 BANDAR KINRARA 学校生徒パフォーマンス
歌とダンス
*池田北高校生徒パフォーマンス
空手演武、ダンス
*両校生徒記念品交換
*全員での歌とマレーダンス
- 1 3 : 2 0 終了
- 1 3 : 3 0 学校から出発



	
1. 校門での歓迎セレモニー	5. BANDAR KINRARA 校長歓迎の言葉
	
2. 歓迎式会場	6. 池田北高校 校長訪問の挨拶
	
3. 生徒歓迎のパフォーマンス	7. BANDAR KINRARA 生徒代表挨拶
	
4. 生徒歓迎のパフォーマンス	8. 池田北高等学校 生徒代表挨拶

	
9. 池田北高校生徒 お礼の歌	13. 池田北高校からの記念品
	
10. 連携協定書の締結	14. 歓迎式典参加教職員生徒記念撮影
	
11. BANDAR KINNRARA 校からの記念品	15. 学生交流 インド舞踊の体験
	
12. 池田北高校からバナーの手渡し	16. 学生交流 インド系学生との記念撮影

	
17. 学生交流 マレーバティックの体験	21. 本校生徒も入ってのマレーダンス
	
18. 学生交流 中国茶道の体験	22. 池田北高校 男子生徒空手演武
	
19. 学生食堂にて昼食	23. 池田北高校 女子ダンスパフォーマンス
	
20. マレーダンスのパフォーマンス	24 両校生徒最後のお別れの歌とダンス

大阪府立 池田北高等学校 様

ご 旅 程 表 (学生団体用)

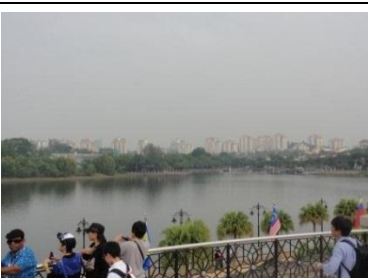
作成日 平成 26年 5月 2日
 近畿日本ツーリスト 大阪教育旅行支店
 〒550-0013 大阪市西区新町 1-16-1
 大陽日酸新町ビル3階
 TEL:06-6533-0714
 FAX:06-6533-0719

マレーシア方面 4泊5日

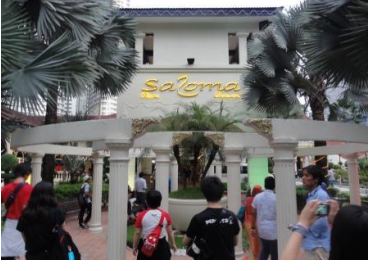
平成26年 7月11日(金) ~ 7月15日(火)

日次	月日(曜)	行	程	備	考
I	平成26年 7/11 (金)	エアアジア便 D70533 (機内食)	関西国際空港 9:00 11:00 クアラルンプール LCCT 空港 16:45 17:45 (夕食) マングリンベラス・レストラン 18:45 19:30 ホテル 20:00	【クアラルンプール】 ホテルフェデラル	
II	7/12 (土)	現地大学生2名同伴 (朝食:ニョニヤサヤン・レストラン) ホテル 9:00 9:30 10:00 11:30 マラッカ散策(青雲亭・オランダ広場など) 15:00 17:15 17:45 (夕食:バイキング・マレーシア舞踊) サロマシアター・レストラン 19:30 21:30 ホテル 21:45	【クアラルンプール】 ホテルフェデラル		
III	7/13 (日)	現地大学生2名同伴 (屋食) ホテル 9:00 10:00 11:30 12:00 パベリオンで自由食 13:00 現地大学生2名と自由散策 クアラルンプール市内ブギビンタンなど 18:00 (夕食) ハッカ・レストラン集合 19:00 ホテル 19:30	【クアラルンプール】 ホテルフェデラル		
IV	7/14 (月)	学校交流 SMK SEKSEN 1 BANDAR KINRARA 高校(昼食) 13:00 13:30 14:30 15:00 16:00 バツ洞窟 16:00 (夕食) マルコポロ・レストラン 19:00 ホテル 19:30	【クアラルンプール】 ホテルフェデラル		
V	7/15 (火)	エアアジア便 D70536 ホテル 5:20 6:20 朝食(ランチパック) クアラルンプール LCCT 空港 8:00 (機内食) 関西国際空港(解散) 15:25 16:00			
J R (泊)	バス 旅館泊	船 食事 船中泊 徒歩 航空機 キー 私鉄 船中泊 リフト 船中泊 ロブライ PA パーキングエリア	総合旅行業務取扱管理者 松田 剛 担当者 松崎 繁一		

	7月11日（金） 10:20 [飛行機に搭乗] ・関西国際空港で、チェックイン、手荷物検査、出国審査を経て、ウイングシャトルにて各自先端駅で下車 ・7番搭乗口から搭乗 ・エアアジア D70533 便にてクアラルンプールへ ・預け荷物、機内食はすべて事前予約、申し込みが必要
	7月11日（金） 現地時間 16:25（時差 -1時間） ・クアラルンプールに到着 ・直前にスコールが降っていた。気温 31 度 ・入国カードは 2 年前に廃止されたが、両手人差し指の指紋の登録があった（画面に両指を置いて、登録） ・LA の新しい空港ができたばかりで施設はきれいだった
	7月11日（金） 17:30 [バスでホテルへ] ・現地ガイド 通称「マッチャン」と合流して、バスに乗車 ・「マッチャン」はインド系マレーシア人、6か国語が話せる ・ガイドは英語を交えてレッスンを兼ねての流暢な案内 ・空港からクアラルンプール市内へ向かう ・高速道路も整備されていて、周辺の施設も近代的
	7月11日（金） 19:00 [夕食] ・フェデラルホテルに到着、荷物をロビーに預けて2階のマンダリン・ペラスレストランへ直接行って夕食 ・マレーシアについて初めての食事は中華料理 ・ふかひれスープやダックなどの高級な食材も ・食事後、部屋のカードキーを受け取って各自部屋へ
	7月12日（土） 6:30 [朝食] ・ホテル2階のレストランで朝食 ・朝食はバイキング形式で、メニューは豊富 ・現地の食材を使ったメニューも多く、変わったものもあった ・外はまだ暗く7時30分ぐらいにならないと明るくならない ※6月28日から7月27日までラマダン中
	7月12日（土） 8:30 [バスでホテルを出発] ・夜は夕方からラマダンフェスタといって屋台も多く出て若者たちが一晩中歌ったり踊ったりして騒いでいた ・今日から2人の現地大学生と一緒に過ごす ・車内でビビアンさんとウォンさんが英語で自己紹介 ・二人と楽しく会話してマレーシアについていろいろ学んだ

	7月12日（土） 9：10 [プトラジャヤ到着] ・新行政都市プトラジャヤへ到着、写真は首相官邸 ・2010年にすべての行政機関がこの町に集められた ・インテリジェント・ガーデンシティの名のとおり 自然が豊かで美しい街並みとなっている ・行政機関が集中していて機能的となった
	7月12日（土） 9：15 [ピンクモスクへ] ・首相官邸とプトラ広場を囲むようにピンクモスクがある ・国教はイスラム教で至る所にモスクがある ・ピンクを基調にした美しいモスク ・中に入るには、女性は髪の毛や肌を出してはいけないので 入り口で、ケープを借りてそれを着て入る
	7月12日（土） 9：20 [ピンクモスク内へ] ・中は幾何学模様が美しくかたどられている ・ムスリムの礼拝のため、1日5回の礼拝時間は入れない ・女性は、左手の衝立の中か、2階で分かれてお祈りを捧げる ・イスラムは戒律が厳しく、この時期は断食ラマダン中だった ・バスの運転手もムスリムで7：30以降一食の食事のみ
	7月12日（土） 9：30 [官庁街] ・人口湖の上にモスクが張り出していてその左手が官庁街 ・クアラルンプール市内が過密になり、公務員の通勤時間や 勤務時間が問題となり、スラゴール州に移転した ・国際空港とクアラルンプールの間に位置し、合理的 かつ機能的な行政機関に生まれ変わった
	7月12日（土） 9：35 [公務員住宅街] ・右手は公務員が7万に住む町となっている ・両方の町を湖の上をきれいな橋で結んでいる ・首都機能がこの新都市に集中している ・美しい街並みは観光地ともなっている ・まだ工事中の所もあるが発展している様子が窺える
	7月12日（土） 12：10 [昼食] ・2時間余りかけてマラッカに到着。まずは昼食 ・ニョニヤ料理で、マレーシアの基礎を築いた中国系の人々の 郷土料理（マレー人と中国人の混血：男ババ、女ニョニヤ） ・フライドライスにチキンカレーや魚、肉、野菜などを載せて 食べる。スパイスが効いているが食欲が出ておいしかった

	7月12日(土) 13:00 [マラッカ海峡] ・ プラム・マラッカ島(人工島)の海の上に立つモスク ・ モスクの向こうが有名なマラッカ海峡、タンカーが見える ・ マレー半島とスマトラ島に挟まれた狭い海峡 ・ 平均して65km～70kmの幅で、うち公海として通行できるのは中央部の20km余りしかない
	7月12日(土) 13:20 [マラッカ海峡] ・ マレー半島からスマトラ島に渡る船はこのあたりの港から出港する。年間9万隻を超える船が航行する公海を横切るのは大変とのこと ・ 最も狭いフィリップス水路は幅2.8km、水深23mしかない。フィリピンの海賊船が出没する
	7月12日(土) 13:35 [マラッカ最古の中国寺院] ・ 1646年に建てられた、マレーシア最古の中国寺院 チェン・フー・テン(青雲亭) ・ 中国南部の様式で屋根には陶磁でできた美しい装飾が施されていた。位牌と写真が一緒に飾られていた ・ 近くにはマレーシア最古の尖った屋根を持つモスクもある
	7月12日(土) 14:00 [マラッカ世界遺産] ・ 1753年に建てられたオランダ建築の美しい木造のプロテスタント教会。梁には一本の釘も使っていない ・ 15世紀のマラッカ王国、16世紀以降のポルトガル、オランダ、イギリス統治時代の文化の影響を大きく受けている ・ 教会にはイギリス人が作った風見鶏も飾られる
	7月12日(土) 14:45 [セントポール教会] ・ 右手が落ちたフランシスコザビエル像 ・ ポルトガル統治時代(1511年～1640年)に建てられたセントポール教会跡、ポルトガル人の墓石が残る ・ フランシスコザビエルの遺体が一時収められていた その後遺体はマドラス、右手はポルトガル本国へ送られた
	7月12日(土) 14:55 [サンチャゴ砦] ・ 1511年にポルトガル総督によって建てられた有名なサンチャゴ砦。当時は高い堀で覆われていたが、イギリスによって取り壊された。石造りの門と大砲が残っている ・ すぐ目の前は海だったが、現在は埋め立てられて様々な商業施設などが作られている

	7月12日(土) 15:10 [マレー人墓地] ・マレー人のお墓 ・土葬で小さな墓石が置かれている ・近くには中国系の人々の古いお墓も史跡として保存されており、中国からの観光客が多く訪れていた
	7月12日(土) 18:30 [ツインタワー] ・クアラルンプール市内に戻ってきてツインタワーの見える公園で学校交流の時のパフォーマンスの練習をした ・後ろに見えるペトロナス・ツインタワーは地上88階建て452mの高さでツインタワーとしては世界一の高さ ・一棟は日本が、もう1棟は韓国の企業が作った
	7月12日(土) 19:00 [KLタワー] ・写真右端には、地上421mのKLタワーが見える ・現在世界で4番目に高いテレビ塔 ・地上276mに展望台があり360°見渡せる ・標高94mの丘ブッキナナスに建っているため実際にはツインタワーよりも高く見える。周辺は高層ビルが立ち並ぶ
	7月12日(土) 19:00 [夕食] ・サロマレストランで食事 ・マレー料理のブッフェディナーで、様々なマレー料理を味わうことができた ・ココナッツやスパイスを使ったものが多く、甘く辛いという印象の料理が多かった
	7月12日(土) 20:30 [マレー舞踊鑑賞] ・食事後サロマレストランでマレーの伝統舞踊の鑑賞をした ・マレーの原住民の踊りや吹き矢を使っの狩りの様子やマレー系、中国系、インド系の伝統を受け継いだ踊りやダンスを鑑賞することができた ・舞台に上がってマレーのバンブーダンスと一緒に体験した
	7月12日(土) 21:30 [マレー舞踊鑑賞] ・舞台終了後の出演者や観客との写真撮影や交流の時間 ・生徒たちも舞台に上がって出演者や地元の学生や観光客と会話をしたり写真撮影をしたりした ・生徒たちが積極的に話しかけたり交流したりする様子が印象的でとても良かった

	7月13日(日) 9:15 [バティック染め体験] ・ジャディバティックセンターにてバティック染めの体験 ・布に下絵を鉛筆で描き、その線に沿って溶かしたロウを銅製の道具を使って塗っていく ・その後、顔料を使って彩色をしていきます ・布を乾燥させて、ロウを洗い流せば完成です
	7月13日(日) 11:10 [セントラルマーケット] ・セントラルマーケット散策 ・1888年に実際の市場として建てられた建物を、マレーシアの伝統工芸品を集めた「雑貨の百貨店」にリメイクした所 ・マレーシア各地から集めた雑貨や伝統工芸品のほか、アジア各地から取り寄せた雑貨などもある
	7月13日(日) 12:20 [チャイナタウン] ・パサール・セニ駅周辺にあるチャイナタウン ・店はたくさんあるが、ブランド品はすべて偽物 ・マレーシア独特の熱帯フルーツやジュースなども売っている ・ペタリン通りを中心に路地は入り組んでいる ・漢方の羅漢果(ラカンカ)ジュースを飲んだりした
	7月13日(日) 16:00 [クアラルンプール中心街] ・「パビリオン」のフードコートで各自食事をした後、ビビアンとウォンさんと一緒に中心地の散策をした ・KLプラザからスガイワンプラザやBBプラザなど若者の集まるショッピングセンターを散策して買い物などを楽しんだ。ビルの中は迷路のように店がひしめき合っている
	7月13日(日) 18:00 [クアラルンプール中心街] ・2日間共に過ごした二人の大学生とここでお別れ ・英語での会話も少しはできるようになったようだ ・自由散策で町の様子や人々の様子がよくわかった ・人々は、概して陽気でエネルギッシュ ・町の中心地は、今至る所で地下鉄の工事をやっている
	7月13日(日) 18:30 [夕食] ・ハッカレストランで食事 ・食事の前に男子は駐車場で学校交流の空手演武の練習 ・海鮮鍋ということだったが、ビルに囲まれた屋外のレストランでひたすら暑くみんな食欲がなかった ・揚げワンタンを入れるのが独特、最後の麺とビーフンが多い

	7月14日（月） 9：00 [学校交流] ・SMK SEKSYEN 1 BANDAR KINRARA を訪れた ・生徒数約1200人、教員約60名 ・公立中学高校で12歳から17歳までの5年間学ぶ ・マレー系、中国系、インド系などの生徒と一緒に授業を受ける。授業は英語とマレー語（国語）を主に使用する
	7月14日（月） 13：50 [王宮] ・2011年11月にできた新しい王宮 ・6つの王家があり、5年ごとに国王が交代する ・金色のドーム型の屋根が美しく花や緑が美しい ・王室行事やレセプション、授与式、晩餐会などがここで催される。馬に乗った衛兵が門の左右にいて中には入れない
	7月14日（月） 14：20 [バツ洞窟] ・KL 中心部から北 13km にある、ヒンドゥー教の洞窟寺院 ・セランゴール州にまたがる巨大な洞窟群の中に寺院が作られている ・洞窟の入り口までは 272 段もの階段で登ります ・野生のサルが多く棲息していた
	7月14日（月） 15：50 [スズ製品工場] ・最大手のロイヤルセランゴール社のビジターセンター ・マレーシアの特産品として有名なピューター製品を作る工場 ・製造工程を見学するとともに、製品加工の体験もした ・展示も充実、スズの特性などの化学的な学習もできる ・製品は有名なデザイナーがデザインしておりかなり高価
	7月14日（月） 17：15 [スズ製品工場] ・工場前のギネスブックに載っている世界一大きい錫製のビールジョッキの前で記念撮影 ・中では英語に日本語を交えて女性がガイドしてくれた ・マレーシアは石油ほか鉱物資源にも恵まれており、経済発展を支えてきた。今もその発展は著しい
	7月15日（火） 7：20 [搭乗開始] ・早朝4時に起床し、5：20にホテルを後にした ・バスで簡単な軽食を食べた ・この時期オーストラリア産かもしれないリンゴが入っていた ・空港で2度の手荷物検査を受けて、搭乗口へ ・7時間余りの飛行を経て、15：30 関空着